

ナブテスコ株式会社

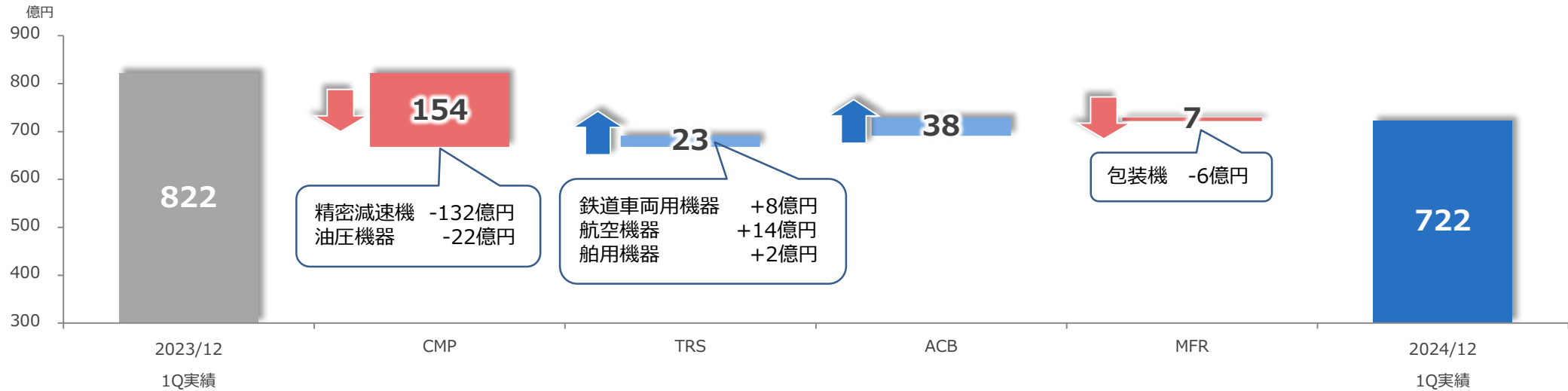
2024年12月期第1四半期 決算説明会資料

2024年4月30日
代表取締役 専務執行役員
波部 敦

2024年12月期 第1四半期実績

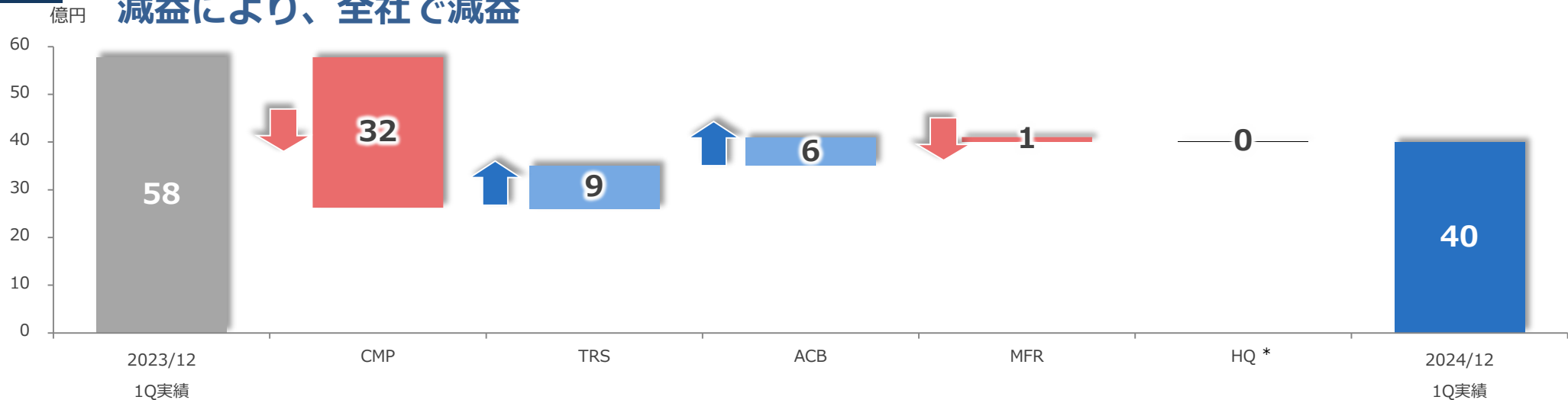
売上高

■ 主にACBでの為替影響による増収はあるものの、精密減速機の需要減少を受け、全社で減収



営業利益

■ TRSでの増収による増益やACBでの為替影響による増益があったものの、CMPでの減収による減益により、全社で減益



*:全社又は消去

2024年通期計画見直し

通期計画の見直し

■ **連結売上高 3,237億円（期首計画比 上期+31億円、通期+17億円）**

- 「為替影響」による売上高の増加
- 自動ドア事業において売上の「期ずれ」発生(下期→上期)

■ **連結営業利益 135億円（期首計画比 上期+25億円、通期+7億円）**

- 1Qに発生した「為替影響」により増益
- 費用発生遅れ、操業益等により上期の営業利益は増益の見込み

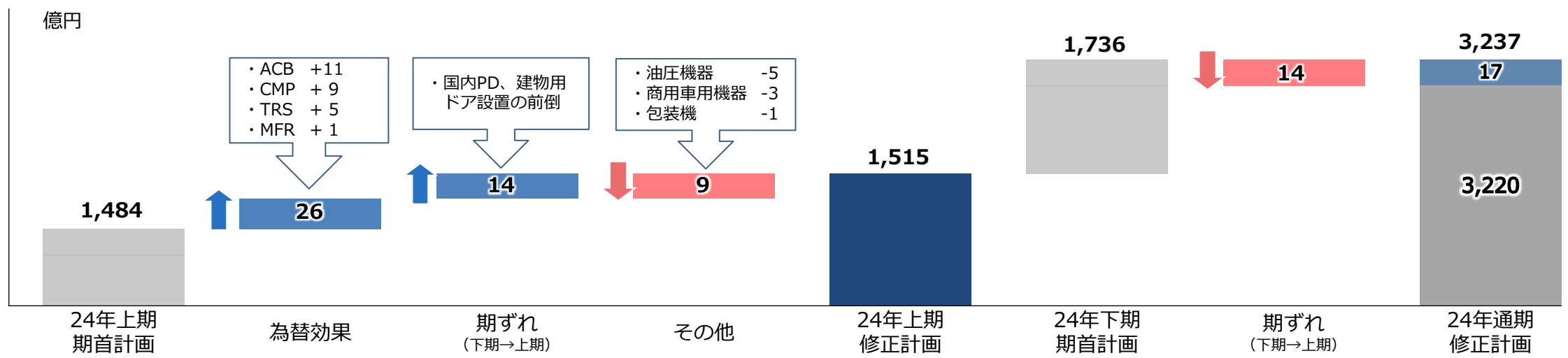
市場環境の見直し

- ほぼすべての事業で市場環境見直しは期首計画策定時と変化なし

売上高

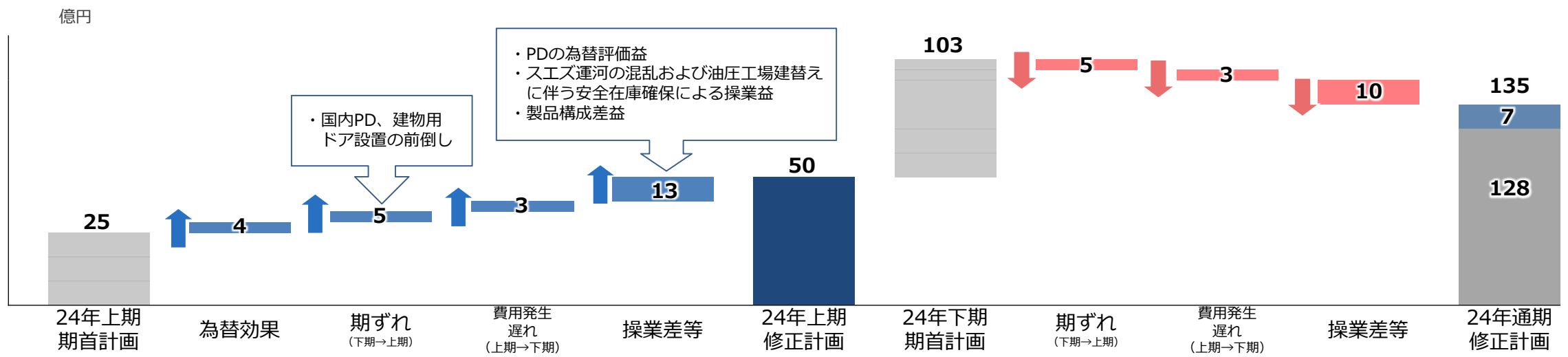
■ 為替影響と期ずれ等を反映して計画を修正

PD:プラットフォームドア



営業利益

■ 1Qに発生した為替影響等による増益を反映



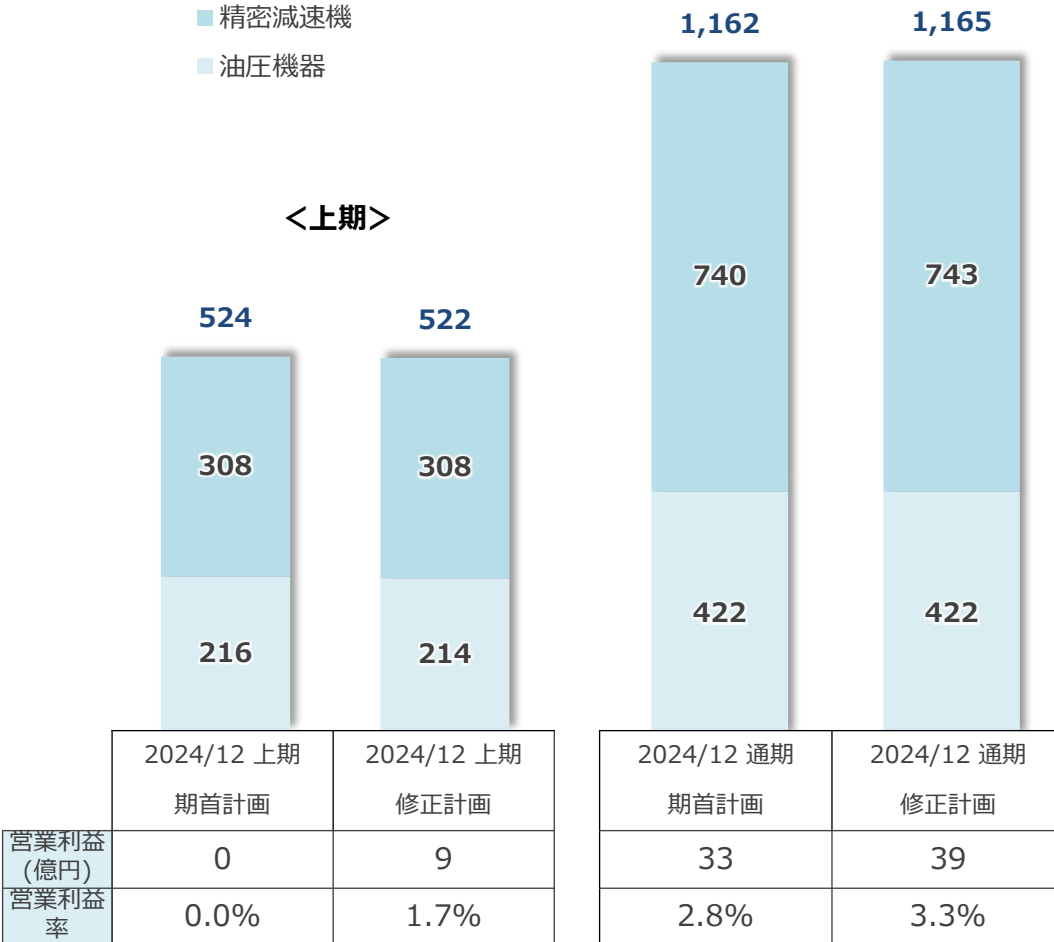
コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

売上高(億円)

■ 精密減速機
■ 油圧機器

<上期>

<通期>



事業環境

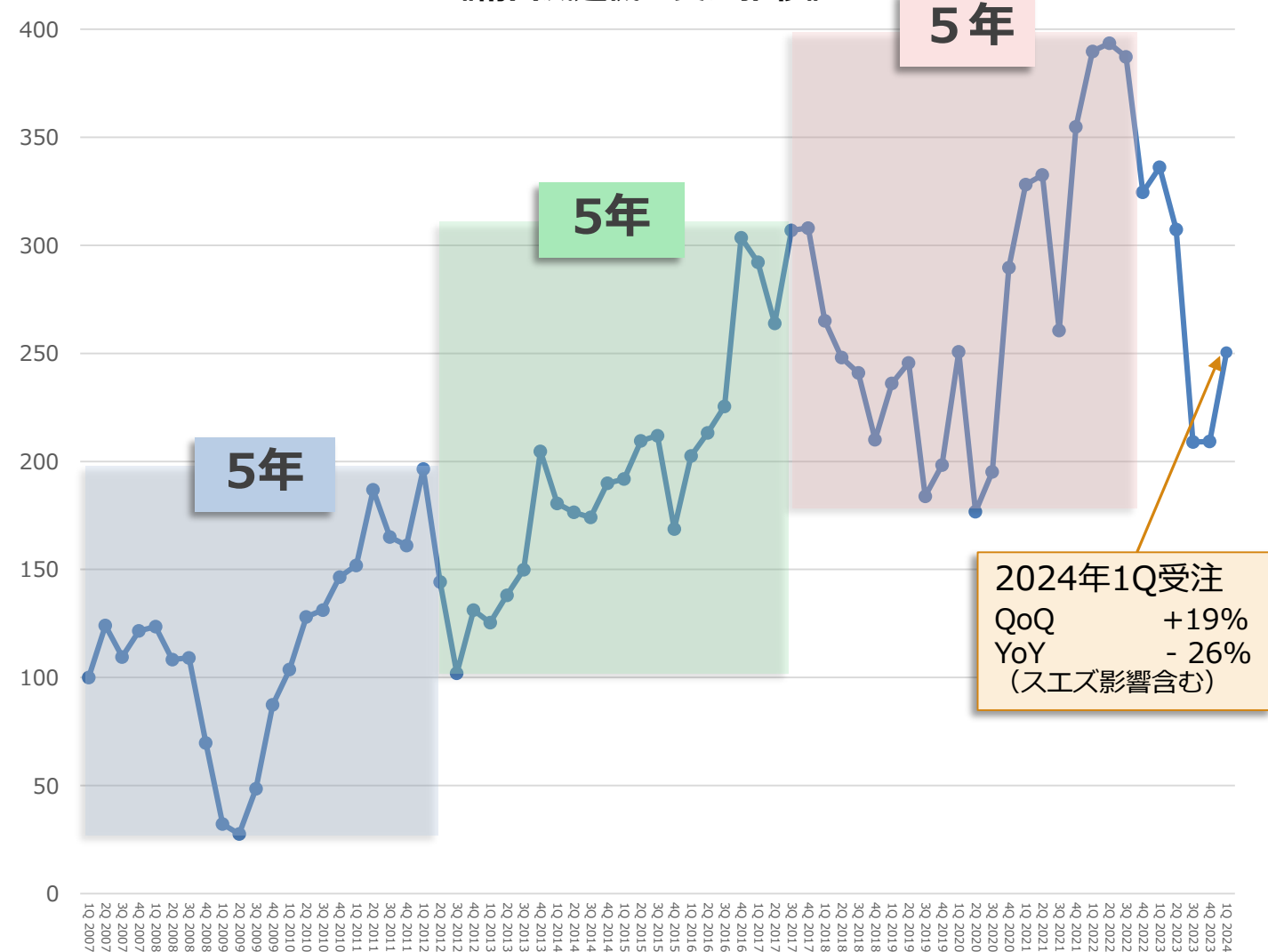
事業	現在の市場環境	市場動向 (24年見通し)
精密減速機	ロボット向け：EV設備投資の低迷と産業用ロボットの在庫滞留による需要低迷が継続するものの、受注底打ちの兆しが見られる	
	FA向け：工作機械受注は前年比で需要減少が継続 半導体関連では投資が上向き始めている	
油圧機器	中国市場：需要減少が継続 24年1Q 中国建機販売台数*1：YoY-13.1%	
	中国以外の市場：日本市場は堅調も欧米、東南アジアでは需要停滞 24年1~2月 建機出荷金額*2（国内+輸出）：YoY-8.6%	

*1出典：中国工程机械工业协会 *2出典：日本建設機械工業会

通期計画見直し

- ✓ スエズ運河の混乱による在庫確保の要請から1Qの受注は想定を上回った
- ✓ 期首計画に見込んだ通り、下期での需要回復を期待
- ✓ 「Project 10」：2026年の目標に向け収益改善活動を展開中

《精密減速機 受注推移》



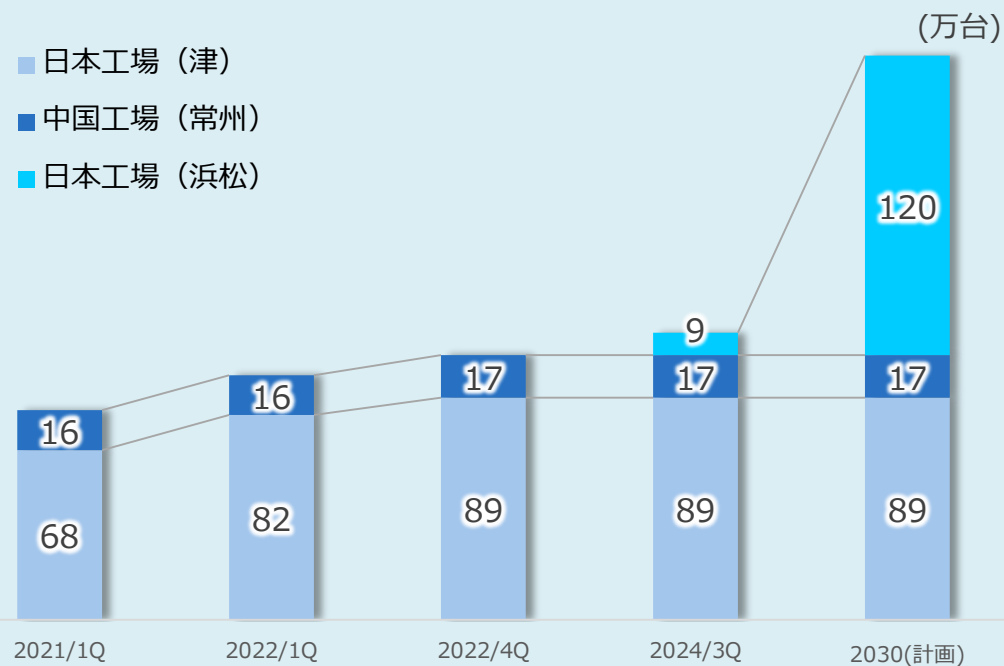
2007年1Q受注を100とした指数

《精密減速機生産能力》

グローバル定時生産能力:106万台/年産 2024年1Q

- 日本工場(津) 稼働率: 50%
(定時生産能力89万台)
- 中国工場(常州) 稼働率: 65%
(定時生産能力17万台)

収益性改善を目指し、2024年8月浜松工場稼働開始に向け準備中

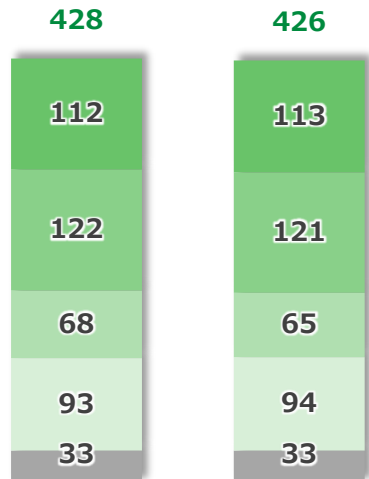


トランスポートソリューションセグメント (TRS)

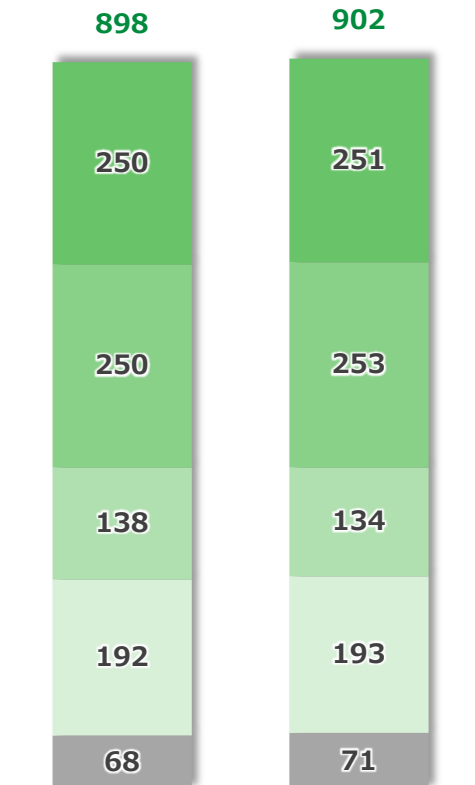
売上高(億円)

■ 鉄道車両用機器 ■ 航空機器
■ 商用車機器 ■ 船用機器 ■ その他

<上期>



<通期>



事業環境

事業	市場環境	市場動向 (24年見通し)
鉄道車両用機器	2024年の国内新車向け投資およびMROが堅調	
航空機器	民間向け：運航量回復に伴い高い需要が継続中 - 民間航空機の2024/2の全世界のRPK*年間成長率は前年比21.5%増、総旅客数はコロナ禍のレベルを超えた	
	防衛向け：防衛予算拡大に伴い新造機・MROとも高需要継続	
商用車用機器	日本での需要が堅調な一方、東南アジアでは経済停滞により需要が下降	
船用機器	新造船：各国造船所が潤沢な手持ち工事量を確保	
	MRO：高需要が継続	
	Deep Sea：連結開始後順調に推移	

*RPK：Revenue Passenger Kilometers 有償旅客キロ (出典：IATA)

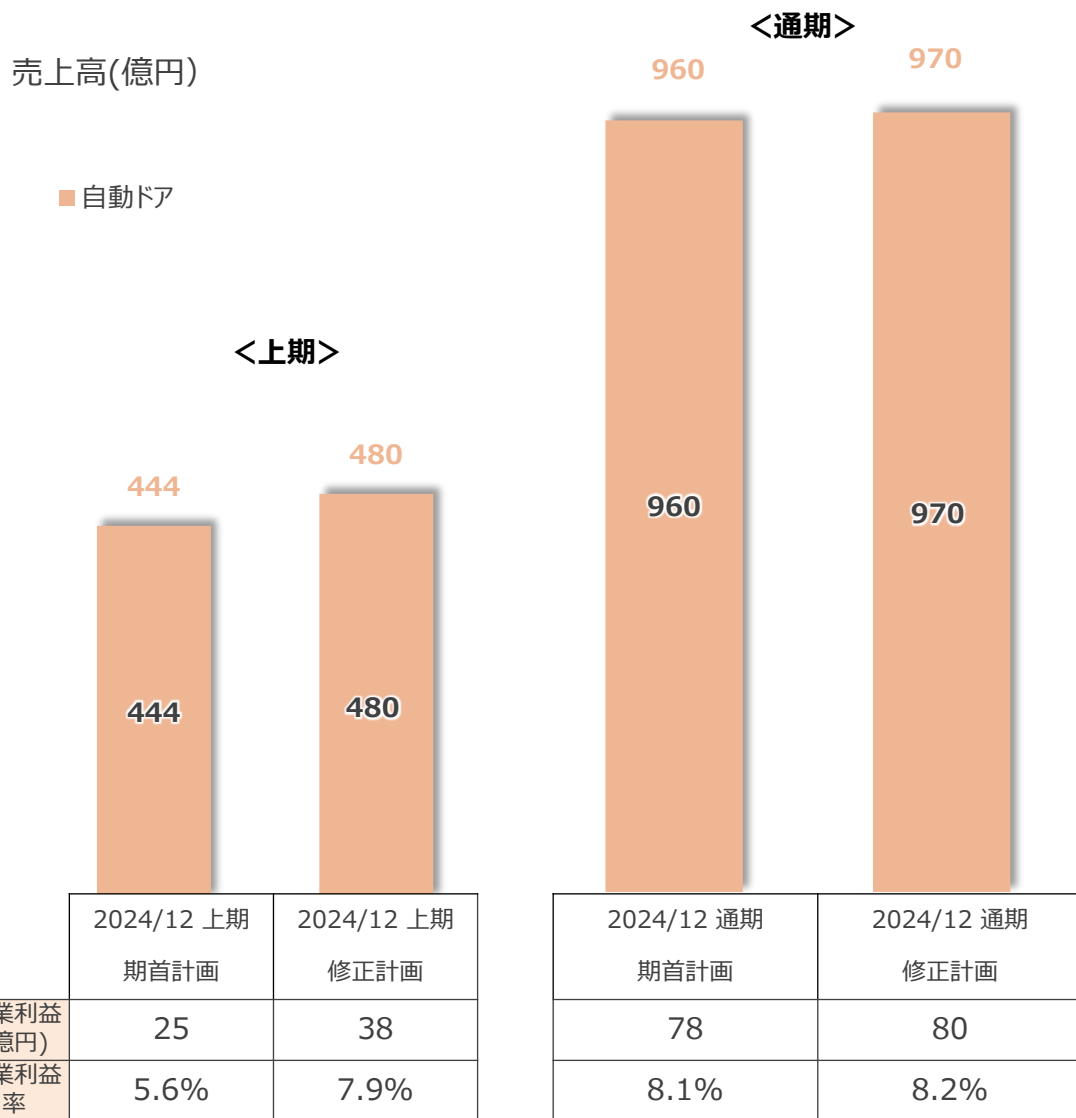
通期計画見直し

期首計画から大きな変更なし

営業利益 (億円)	55	55
営業利益 率	12.9%	12.9%

営業利益 (億円)	115	115
営業利益 率	12.8%	12.7%

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)



事業環境

事業	市場環境	市場動向 (24年見通し)
自動ドア	国内：新規建物用ドアの需要好調	
	欧米：景気後退による市場の成長鈍化	
プラットフォームドア	国内では案件の前倒し影響による売上増あり (1Q)	

通期計画見直し

- ✓ 1Qで発生した為替効果 (CHF ⇔ JPY) と PDでの期ずれ (下期→上期) を上期修正計画に反映
- ✓ 通期では期首計画からの大きな変更はない

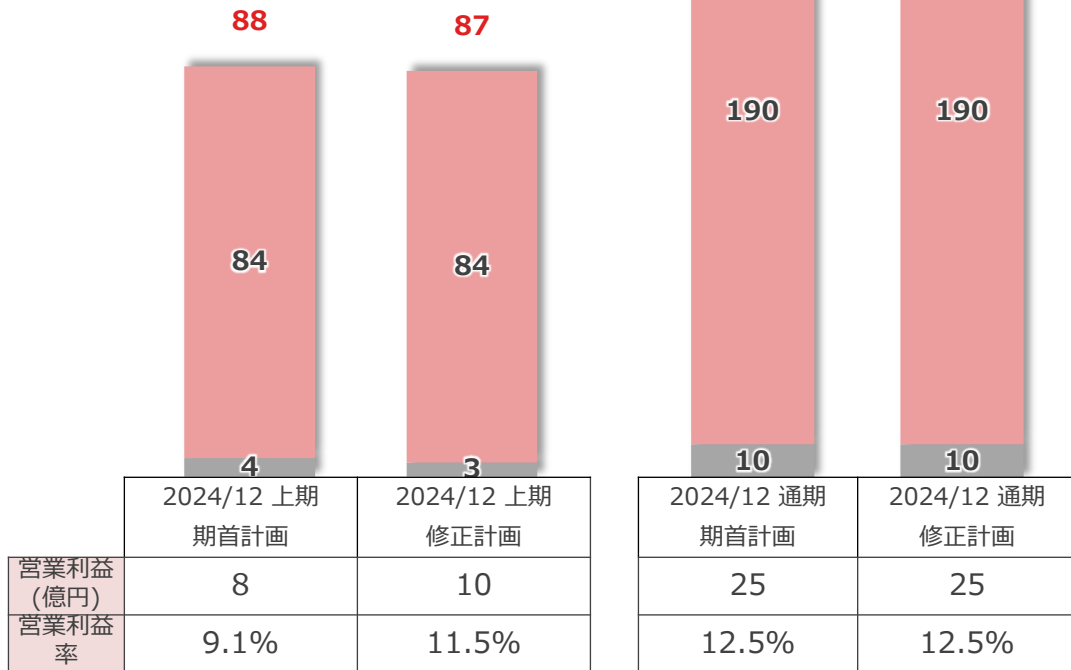
マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高(億円)

■ 包装機 ■ その他

<上期>

<通期>




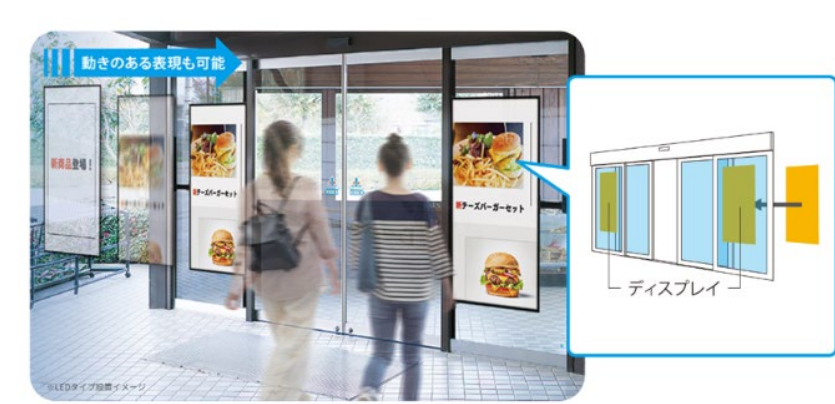
事業環境

事業	市場環境	市場動向 (24年見通し)
包装機	ペットフード向けは設備投資需要に一服感があるものの、国内外の食品向け受注が好調	

通期計画見直し

期首計画から大きな変更なし

トピックス

事業部門	トピックス	内容
船用	<p>AIを活用した船舶向けソリューション 「Cassandra」が日本海事協会の「イノベーションエンドースメント」認証を取得</p> <p>中期経営計画で対処すべき課題</p> <p>自動化とDXによる高効率と地球にやさしいものづくりを実現します</p>	<p>認証製品：「Cassandra」 船舶のパフォーマンスデータと最先端のAI技術を組み合わせ、船舶状態を可視化しリアルタイムにモニタリングする製品</p> <p>認証機関：一般財団法人日本海事協会</p> <p>認証の種類：製品・ソリューション向け「イノベーションエンドースメント」認証</p> <p>製品の特長： ・クラウドベースで稼働することにより、燃料消費量、CO2排出量、船体・機関の状態を陸上からモニタリング可能 ・AI機械学習を用いて船体汚損が燃料消費に与える影響を精密に分析し、船舶のパフォーマンス向上に貢献</p> 
自動ドア	<p>デジタルサイネージ一体型自動ドアによる広告配信事業を開始</p> <p>中期経営計画で対処すべき課題</p> <p>IoT/データを活用したソリューションによる新しい“コト”を提供します</p>	<p>販売開始時期：2024年4月 対象：大学、商業施設、公共交通機関等 備考：広告配信事業の開始に先立ち、自動ドアと一体型のデジタルサイネージディスプレイの販売を開始</p>  <p>自動ドアを活用したデジタルサイネージ（イメージ）</p>

Appendix

(単位：億円)

	2024/12 通期期首計画(A)	2024/12 通期修正計画(B)	増減額 (B-A)
売上高	3,220	3,237	17
営業利益	128	135	7
(営業利益率)	4.0%	4.2%	0.2pt
金融損益	-3	2	5
持分法による投資利益	10	10	0
税引前利益	135	147	12
当期利益*	88	93	5
基本的一株当たり当期利益(円)	73.31	77.47	4.16

*当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

■ 為替レート

	2023/12 1Q実績	2024/12 1Q実績	2024/12 通期計画
USD	133.44	149.88	135.00
RMB	19.41	21.00	18.50
EUR	143.96	162.15	150.00
CHF	144.30	170.19	155.00

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

(百万円)	2024/12 1Q実績		2024/12 通期計画	
	売上	営業利益	売上	営業利益
USD	36	14	227	63
RMB	367	27	1,651	29
EUR	17	軽微	90	22
CHF	62	軽微	266	軽微

(単位：億円)	2023/12	2024/12	2024/12	対前年 同期比 (B-A)	進捗率 (B/C)	2023/12 通期実績
	1Q実績 (A)	1Q実績 (B)	通期計画 (C)			
設備投資額	75	63	275	-11	23%	297
研究開発費	27	28	140	1	20%	110
減価償却費	37	39	156	3	25%	155

(単位：億円)	2023/12 末 2023年12月31日 (A)	2024/12 1Q末 2024年3月31日 (B)	差異 (B-A)
資産	4,221	4,256	36
(現預金等)	778	733	-45
(営業債権)	827	763	-64
(棚卸資産)	510	573	63
(非流動資産)	2,012	2,066	54
負債	1,462	1,476	14
(社債及び借入金)	216	292	76
資本	2,759	2,781	22
(自己株式)	-39	-38	1
(非支配持分)	154	164	10
親会社所有者帰属持分	2,605	2,617	12
親会社所有者帰属持分比率：	61.7%	61.5%	

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

【精密減速機】

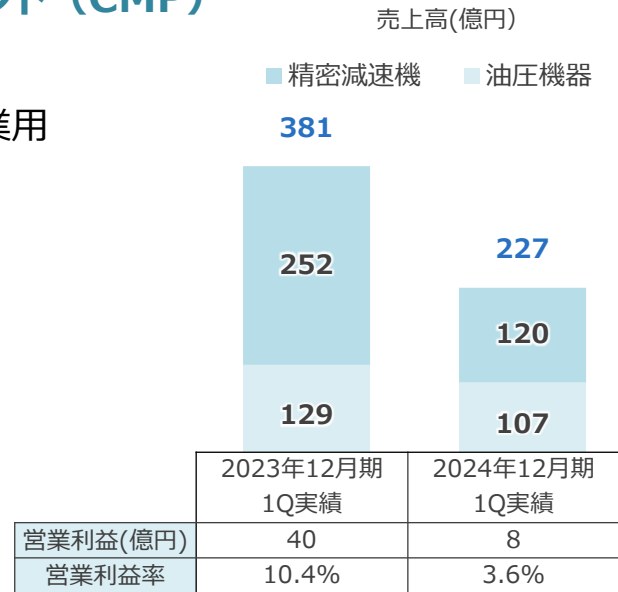
中国をはじめとした需要減少と産業用ロボットの市中在庫の影響で減収

【油圧機器】

中国および欧州需要減による減収

【営業利益】

稼働減少による利益減



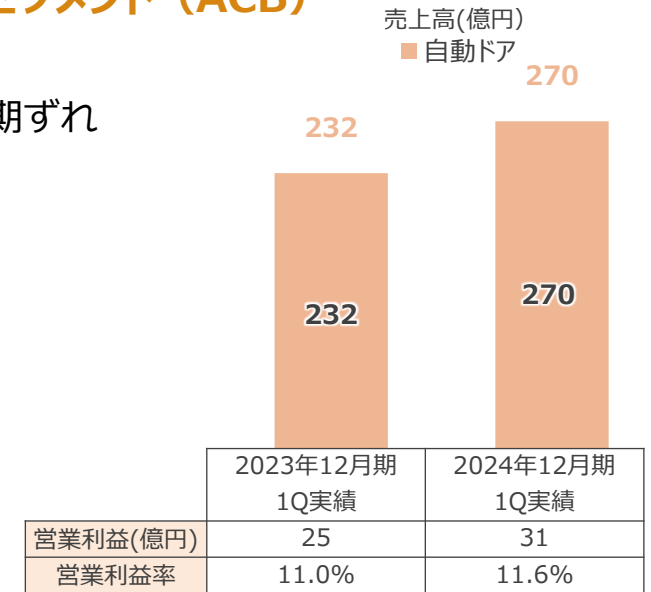
アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

【売上】

為替影響や国内建物用ドアの期ずれにより増収

【営業利益】

PDの為替評価益計上



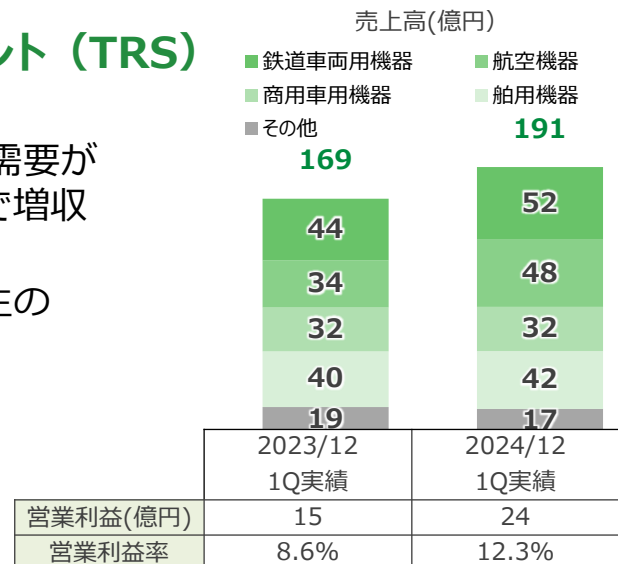
トランスポートソリューションセグメント (TRS)

【売上】

鉄道車両用機器では国内外のMRO需要が好調。航空機器は民間・防衛向けで増収

【営業利益】

増収による増益に加え、コスト発生の遅れもあり増益



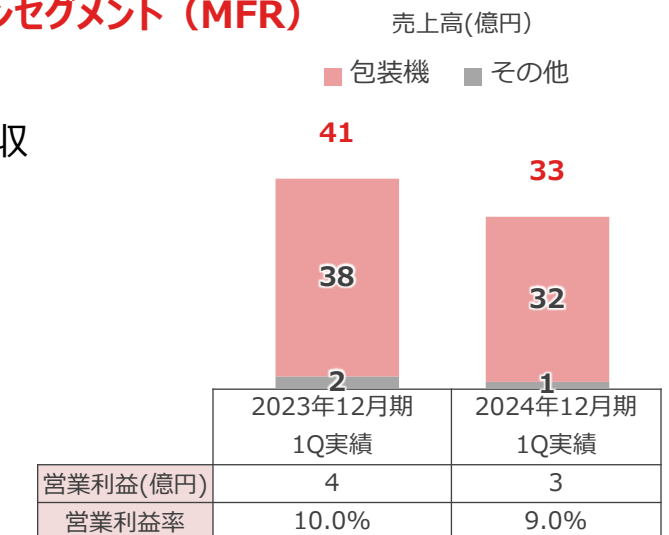
マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

【売上】

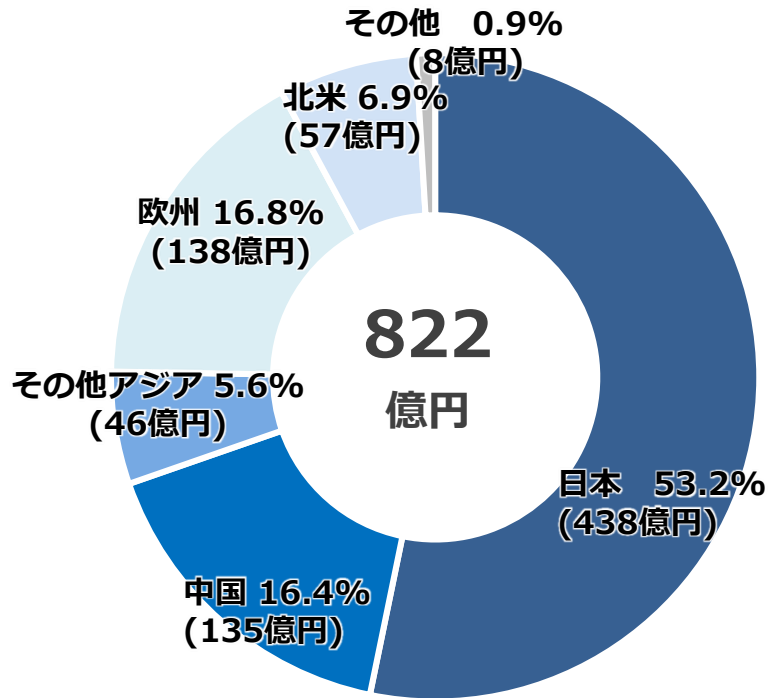
売上の時期ずれが発生し、減収

【営業利益】

減収にともなう減益

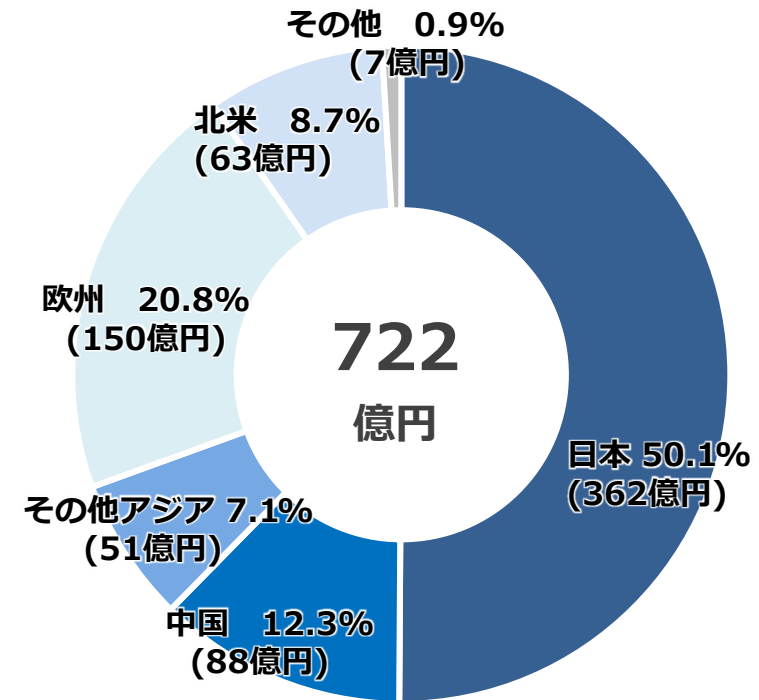


2023/12 1Q実績



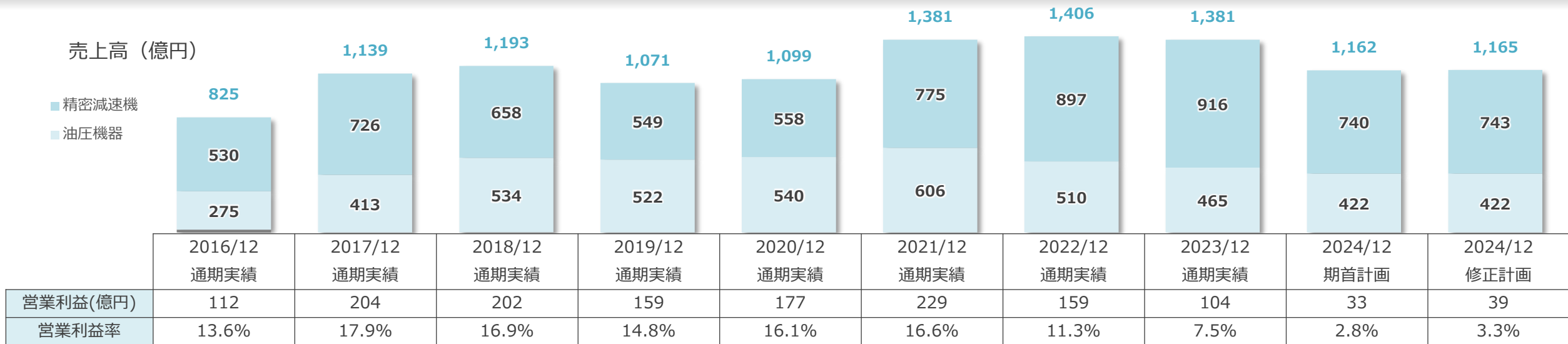
海外売上高	384億円
海外売上高比率	46.8%

2024/12 1Q実績

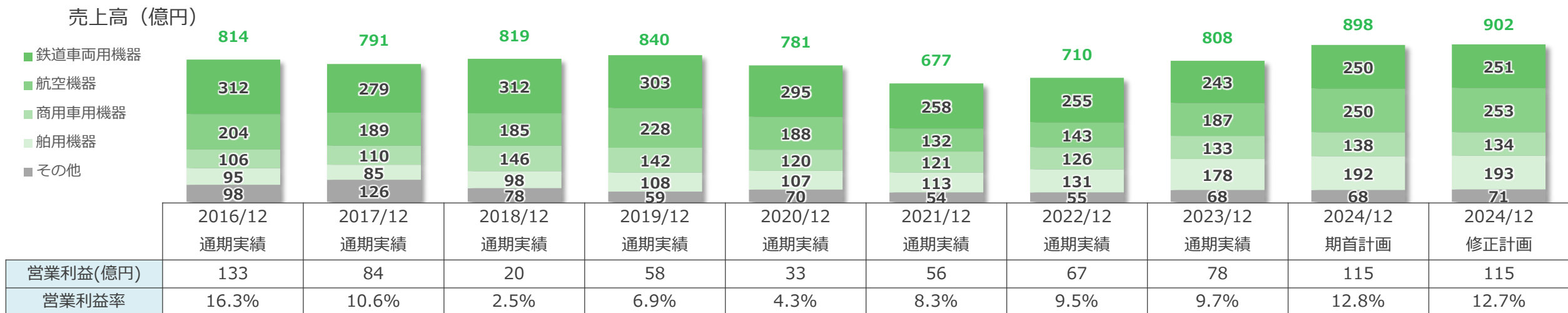


海外売上高	360億円
海外売上高比率	49.9%

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)



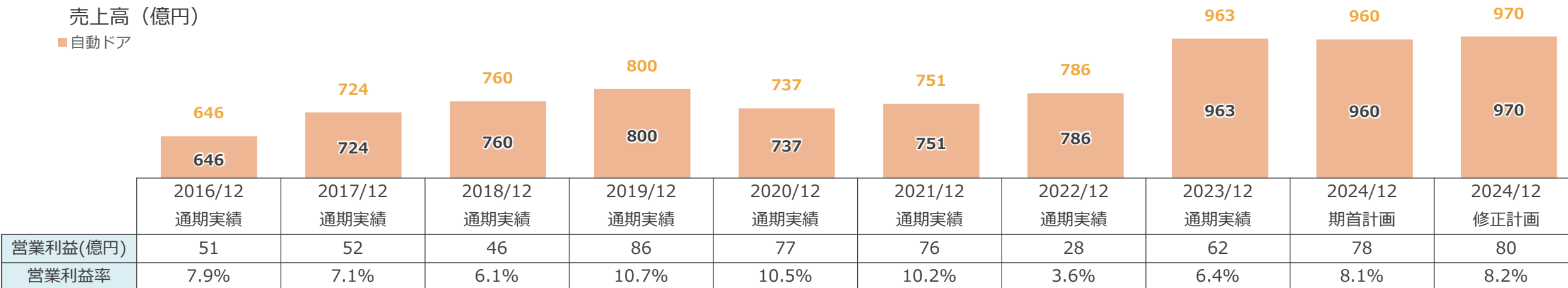
トランスポートソリューションセグメント (TRS)



アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

売上高 (億円)

■自動ドア

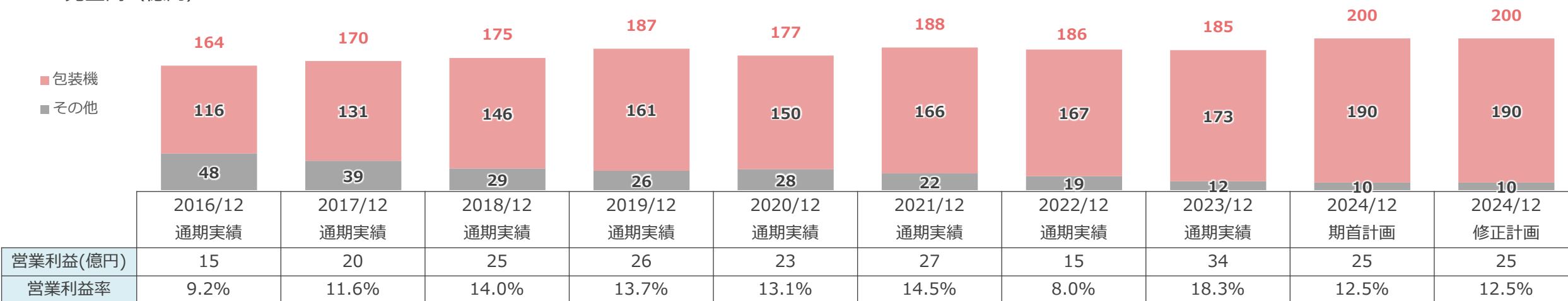


マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

■包装機

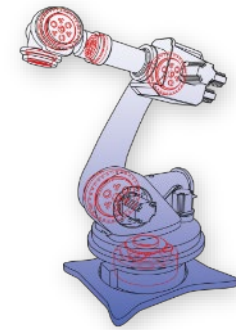
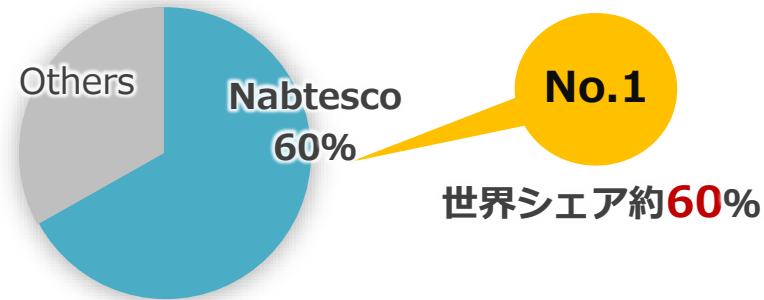
■その他



注：シェアは当社推計

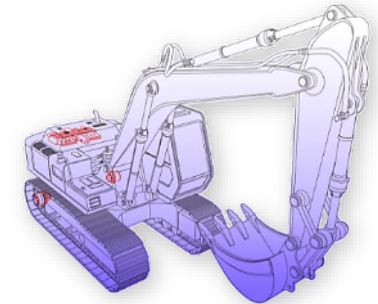
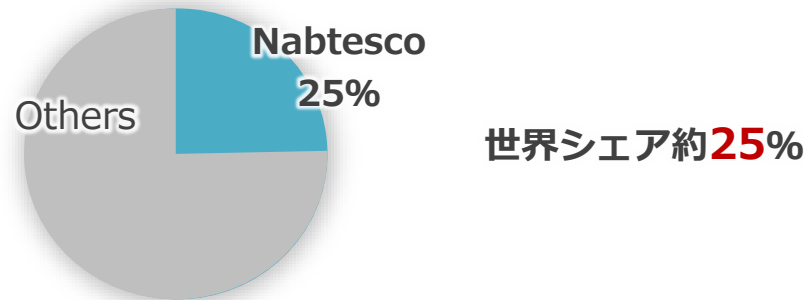
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

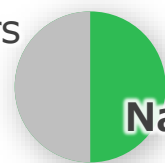
走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

Others



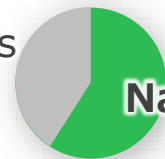
Nabtesco 50%

No.1

国内シェア約**50%**

■ 鉄道車両用ドア開閉装置

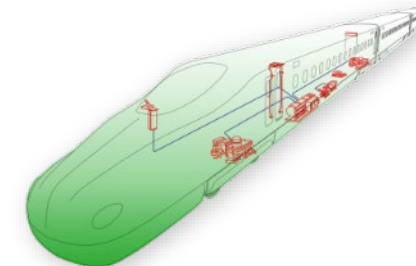
Others



Nabtesco 60%

No.1

国内シェア約**60%**



航空機器

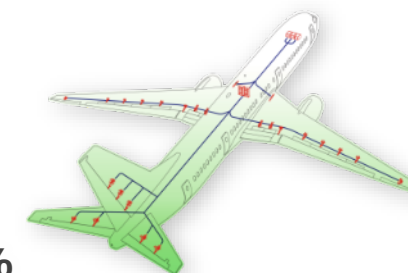
■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



Nabtesco
100%

No.1

FCAの国産機
シェア約**100%**



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

注：シェアは当社推計

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

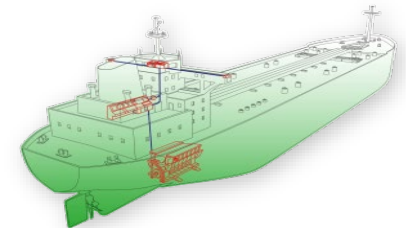


■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 船用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&Sマシナリー
Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)

注：シェアは当社推計

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関
プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

